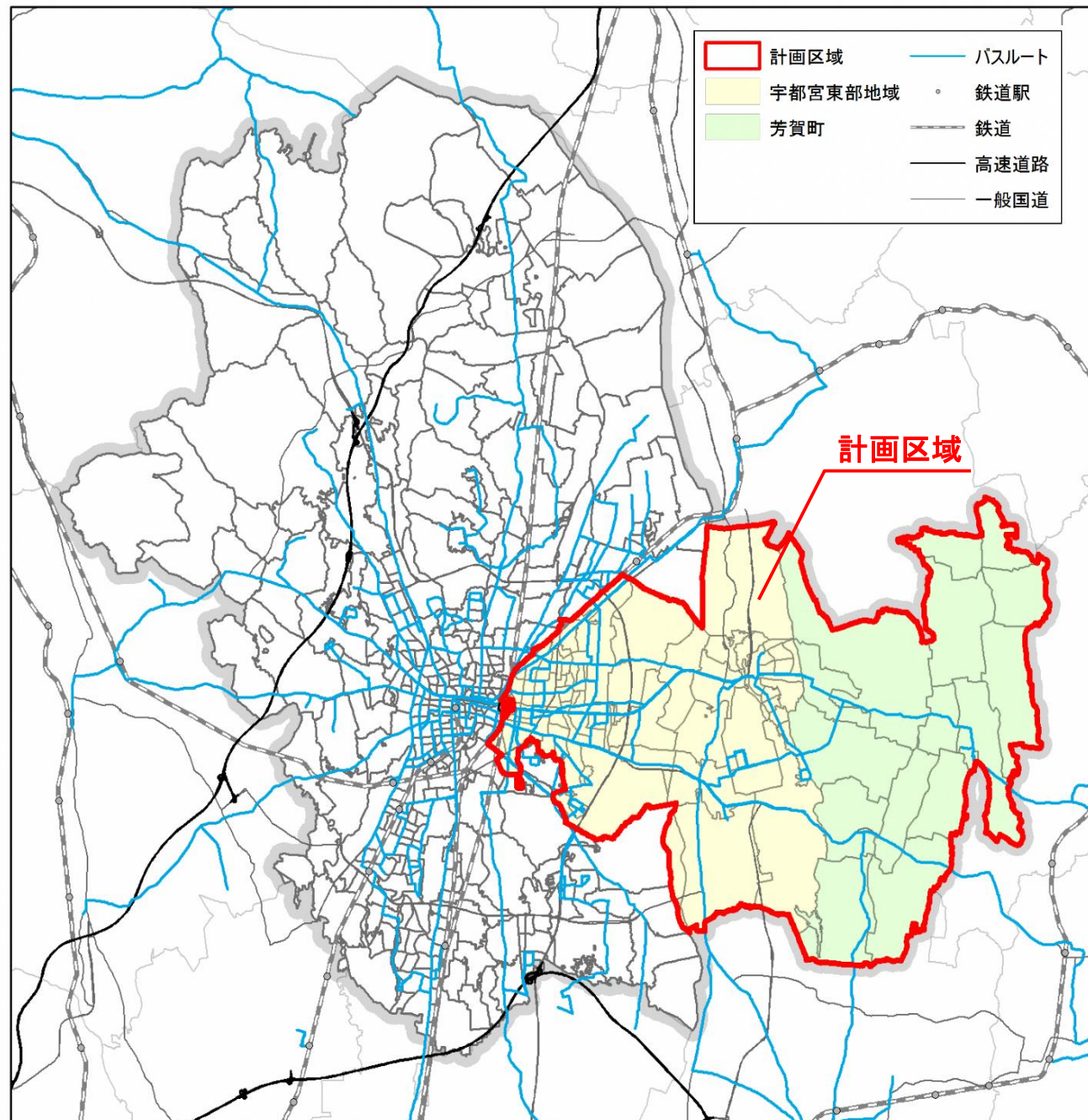


計画策定の目的

芳賀町と宇都宮市は、平成27年11月に「芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」という。）」を策定し、計画に基づき、基幹公共交通としてのLRTの整備や交通結節機能の強化と併せて、「バスネットワークの再編」に取り組んでいるところであり、再編の円滑かつ確実な実施に向けて、再編後の具体的な運行ルートや運行本数などの運行計画の詳細を取りまとめた「芳賀・宇都宮東部地域公共交通利便増進実施計画」を策定するもの。

実施区域

芳賀町全域、宇都宮市東部地域



地域公共交通利便増進実施事業の内容

○ 事業内容

鉄道やLRT、バス、地域内交通が効果的・効率的に連携した、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの実現のため、LRTの導入と合わせてバス路線の再編を行う。

再編内容：P4～P10

○ 実施主体

芳賀町、宇都宮市、交通事業者

■ バス路線再編の方向性

① 公共交通空白地域の解消

- ・ LRTの周辺地域などに存在する公共交通空白地域を解消するため、地域内交通と役割分担しながら、バス路線の新設・拡充を図る。

② 定時性・速達性の向上

- ・ 定時性・速達性の向上のため、遅延が発生しやすい長大路線の定時性に優れるLRTへの接続を図る。

③ 運行の効率化、公共交通間の役割分担

- ・ LRTの運行経路と重複するバス路線については、LRTの周辺や郊外部等を運行する支線バスなどに置き換える。
- ・ 郊外部等の利用者が少ないバス路線については、運行の効率化に向け、地域内交通との役割分担を図る。

④ 事業運営の継続性の確保、経営資源の有効活用

- ・ バス事業者の継続的な事業運営のため、再編後のバス路線の収支に配慮しながら、車両や乗務員などの経営資源をバス路線の新設・拡充等に最大限活用する。

地方公共団体による支援等の内容

(1) 再編後のバス路線の維持・存続に向けた支援

再編により新設するバス路線については、需要の定着に一定の期間を要し、再編初動期においては、運賃収入が不安定となる可能性があることから、運行事業者にとってのリスクを軽減し、再編後のバス路線の維持・存続に向けて、まずは行政が運行主体となり、委託等による運行を行う。（芳賀町・宇都宮市）

(2) 地元住民への説明会等の実施

バス路線再編にあたっては、地元住民に対して、再編によってどのように公共交通ネットワークが変化するのかを示し、理解促進を図る必要があるため、再編後の公共交通ネットワークについて、以下のとおり、周知等を実施。

（芳賀町）

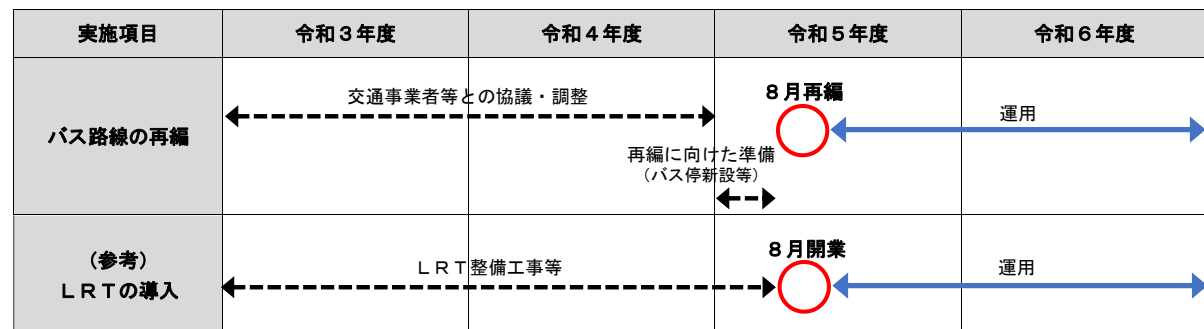
町広報紙やホームページ、ケーブルテレビを活用した周知のほか、「道の駅はが」などでのパネル展示や出前講座を実施

（宇都宮市）

市広報紙やホームページによる周知のほか、JR宇都宮駅東側の地域に対しては、地区市民センターや大型商業施設等でのパネル展示に加え、地区別に住民説明会を開催

利便増進実施計画の期間

令和5年度～令和6年度（上位計画である「網研成計画」の計画期間と整合）



地域公共交通利便増進実施事業に合わせて行う事業

実施項目	事業概要	実施主体
LRTの導入	安全で快適な移動手段を確保し、産業拠点の維持・向上や公共交通空白・不便地域の解消、環境負荷の低減などを図るため、自動車利用からの転換を促進する公共交通ネットワークの実現に向け、東西基幹公共交通としてLRTを導入	芳賀町 宇都宮市 宇都宮ライトレール株
交通結節機能の強化	LRTを東西基幹公共交通として、様々な交通機関が連携した利便性の高い公共交通ネットワークを形成するため、鉄道やバス、自動車などの各種交通との乗り換えが想定される箇所において交通結節機能を強化 以下の5箇所を整備箇所とする。 ・JR宇都宮駅東口 ・宇都宮大学陽東キャンパス前 ・平石 ・清原地区市民センター前 ・芳賀町工業団地管理センター前	芳賀町 宇都宮市
地域内交通・デマンド交通の導入	郊外部における公共交通空白地域を解消するため、地域を面的にカバーする地域内交通を導入するほか、市街地部においても、既存の公共交通との役割分担、地域特性等を踏まえた生活交通の確保を推進。あわせてLRTやバスとの接続を強化。	芳賀町 宇都宮市（地域運営組織と連携）
運賃負担の軽減	利用者の運賃負担軽減を図るため、公共交通間を乗り継いだ際の運賃を割り引く「乗継割引制度」の対象範囲を拡大 ・R4年9月～：バスと地域内交通との乗り継ぎのみを対象 ・R5年8月～：LRTとバス・地域内交通との乗り継ぎを対象に追加 ※芳賀町においては、LRTとバスとの乗り継ぎのみを対象	芳賀町 宇都宮市
モビリティ・マネジメントの実施	過度に自動車に依存しないライフスタイルへの転換を図るためには、LRTの導入やバスネットワークの再編に合わせて、公共交通の利用促進を図ることが重要であることから、行政や交通事業者、地域住民・企業等が連携し、様々な機会を捉えて意識啓発を行い、自動車から公共交通利用への転換を促進 【主な取組内容】 ・totra配布 ・バスの乗り方教室の開催 ・バス路線マップの配布 ・公共交通利用促進パンフレットの配布 ・公共交通PRブースの出席 ・出張ライトライン見学会	芳賀町 宇都宮市 宇都宮ライトレール株 バス事業者 等

事業の効果

事業の効果

公共交通空白地域の解消

LRTの導入や、公共交通空白地域へのバス路線の新設等により、公共交通空白地域を解消

計画区域の公共交通カバー率（面積） 95.4% ⇒ 97.2% (+1.8%)

【参考：宇都宮市清原地区】

LRTの導入及び、清原地区市民センター前のトランジットセンターでLRTと接続し、清原台やゆいの杜を循環するバス路線や、清原工業団地内を循環するバス路線の新設により、ゆいの杜や清原工業団地の公共交通空白地域が解消

清原地区の公共交通カバー率（面積） 85.3% ⇒ 92.9% (+7.6%)

利便性の向上

■ 定時性・速達性の向上

遅延が発生しやすい長大路線を、定時性に優れるLRTに接続させることで遅延を低減

（例）清原台からJR宇都宮駅西側の作新学院高校までを結ぶ路線を、清原地区市民センター前のトランジットセンター発着に変更し、定時性に優れるLRTと乗り継ぐことで、定時性・速達性が向上

■ 運行本数の増加（計画区域内を運行する全てのバス路線の合計）

- 1日あたりのバス路線の運行本数

	再編前	再編後	増減
平日	506本	654本	+148本
土曜日	399本	414本	+15本
日曜日・祝日	320本	323本	+3本

バス路線の再編に加え、LRTが導入されることで、公共交通全体としての運行本数が増加

【参考】LRTの運行本数（将来）

平日 256本/日

休日 216本/日

■ 運行時間帯の拡大

LRTの導入やバス路線の新設により、公共交通全体としての運行時間帯が拡大

（例）ベルモールを起終点として、辰街道や国道123号等を経由する循環バス路線を新設することで、辰街道沿線の地域においては、ベルモールや宇都宮東病院などの施設へ、日中の時間帯のみならず、朝・夕の時間帯もバスで移動可能に。

運行の効率化、公共交通間の役割分担

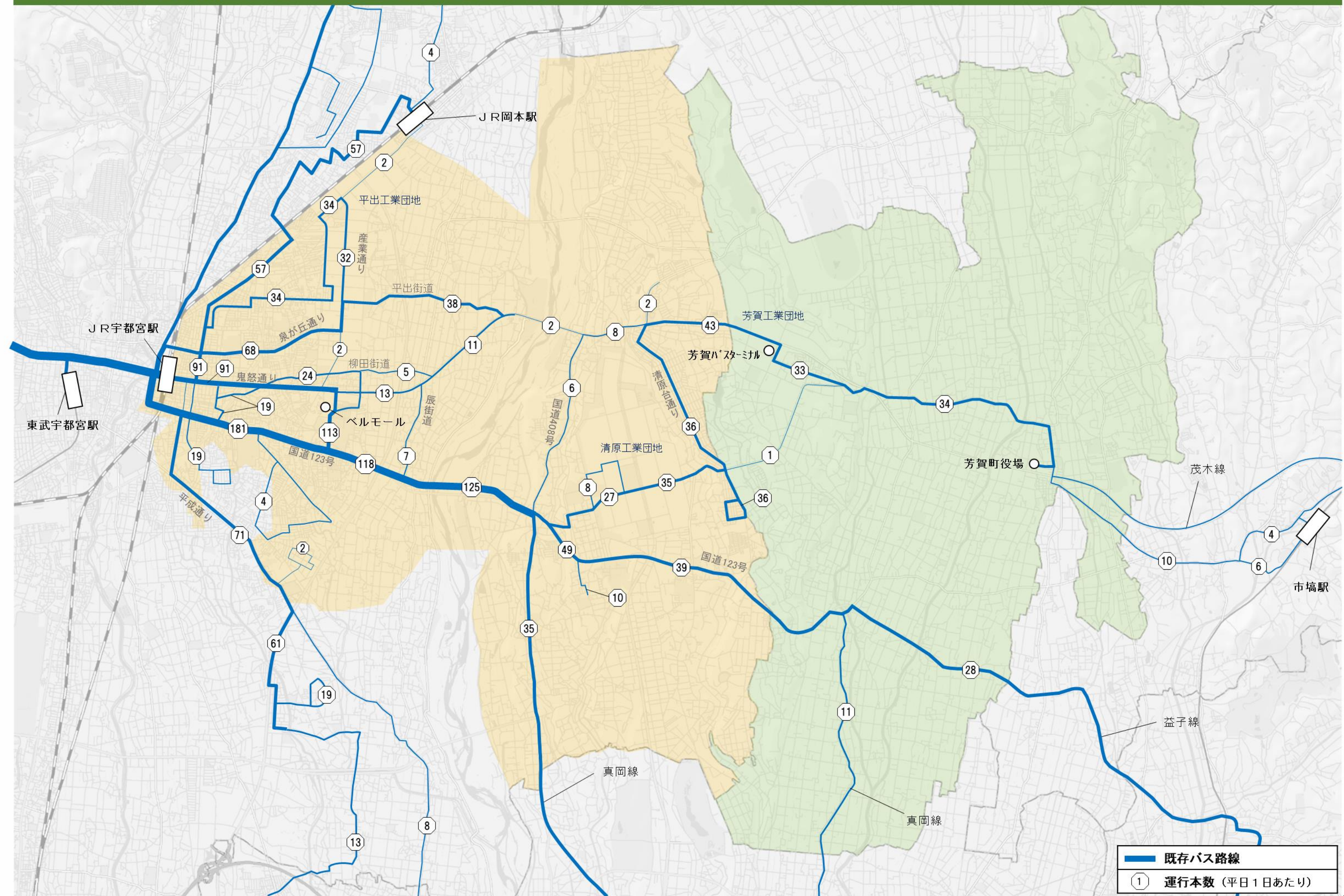
LRTと重複する路線をLRTに置き換えるとともに、利用者が少ない路線を他の路線に付け替えることで、運行を効率化

（例）利用者の少ない卸会館前行きの路線を、瑞穂野団地行きに付け替えることで、運行の効率化を図るとともに、利用者の多い瑞穂野団地方面へのサービスを向上

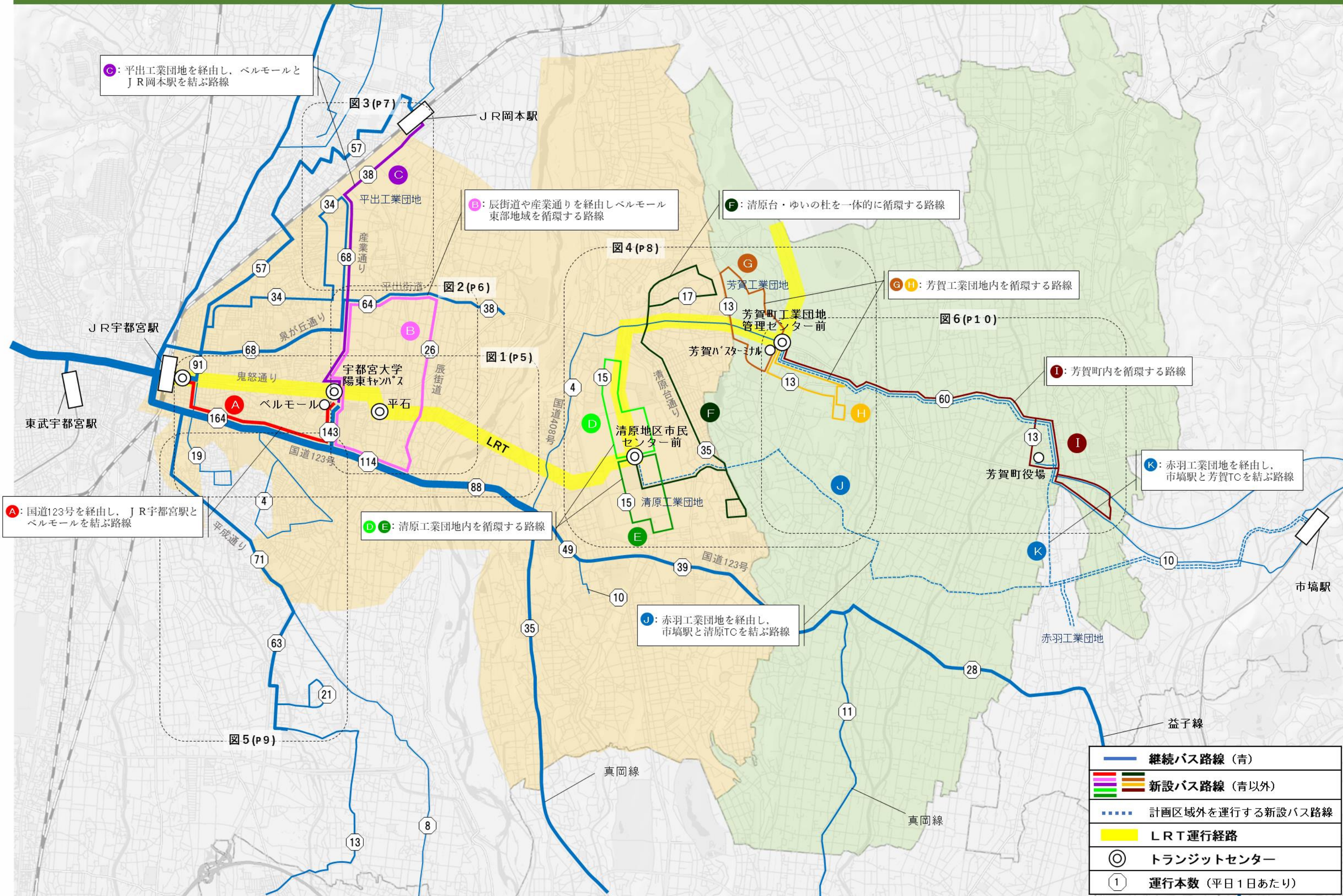
事業運営の継続性の確保、経営資源の有効活用

LRTと重複する路線のLRTへの置き換えや、将来の維持確保が困難な路線の廃止、長大路線のLRTへの接続による経路短縮等により、経営資源を他の路線へ活用

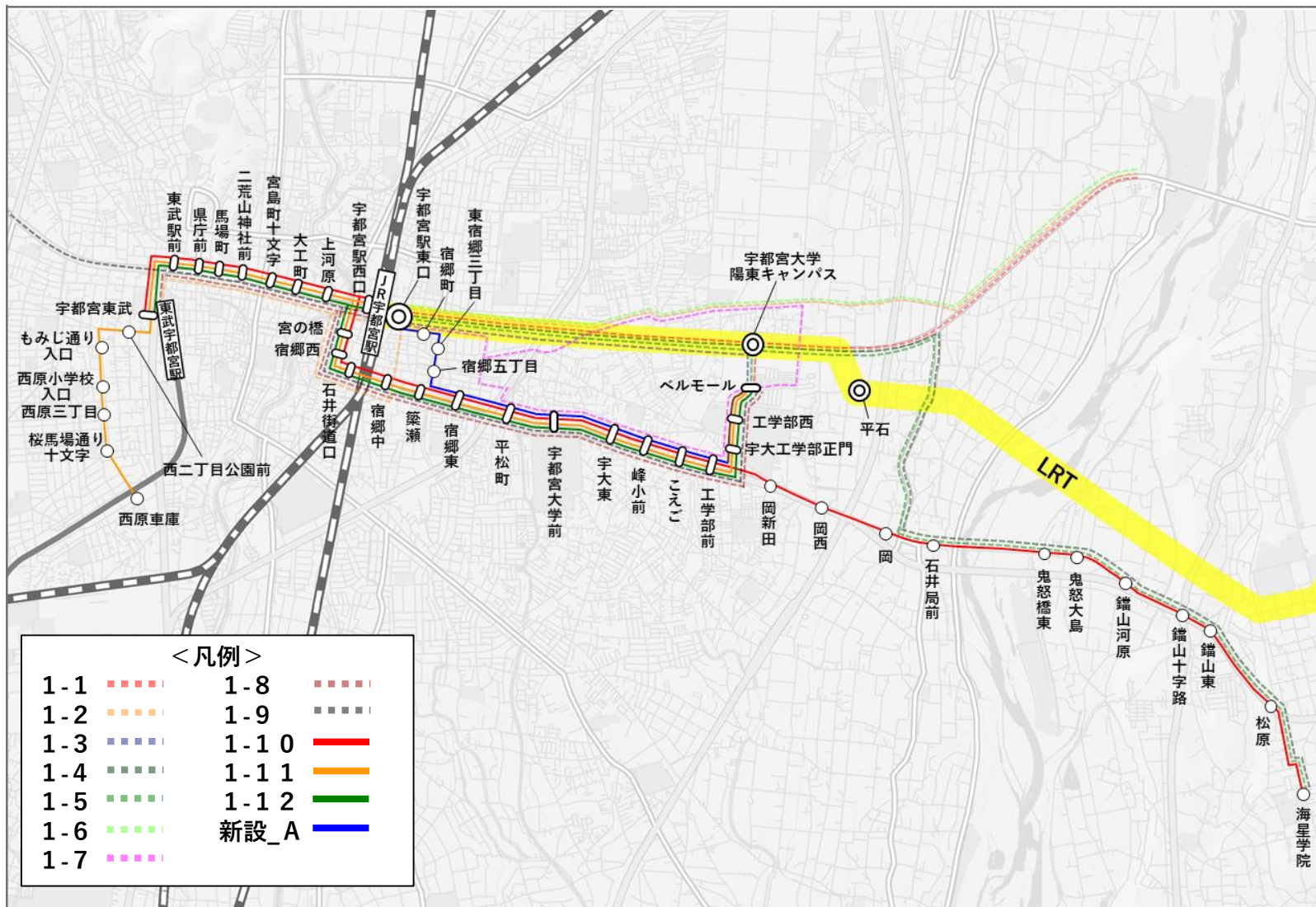
芳賀・宇都宮東部地域における公共交通ネットワーク(令和5年3月現在)



再編内容の概略図



【運行ルート・運行本数等の詳細 (再編後)】



【再編の概要】

① 既存バス路線のLRTへの置き換え

LRTと運行経路が概ね重複する鬼怒通りや柳田街道を運行する既存バス路線(1-1~1-9)については、公共交通間の役割分担を踏まえ、LRTへの置き換えを実施

② バス路線の新設

LRTの南側で平行する国道123号を經由して、JR宇都宮駅東口からベルモールでLRTと接続するバス路線(新設_A)を新設

【再編による効果】

① 運行サービスの拡大

鬼怒通りや柳田街道を運行する既存バス路線がLRTに置き換わり、LRTが早朝から深夜まで高頻度で運行することで、運行頻度が向上するとともに、運行時間帯が拡大

《参考：鬼怒通りの運行頻度・運行時間帯》

- ・運行頻度：約90本(バス) **約3倍** → 約250本(LRT：将来)
- ・運行時間帯：6~22時台 **+1時間** → 6~23時台

② LRTへのアクセス性の向上

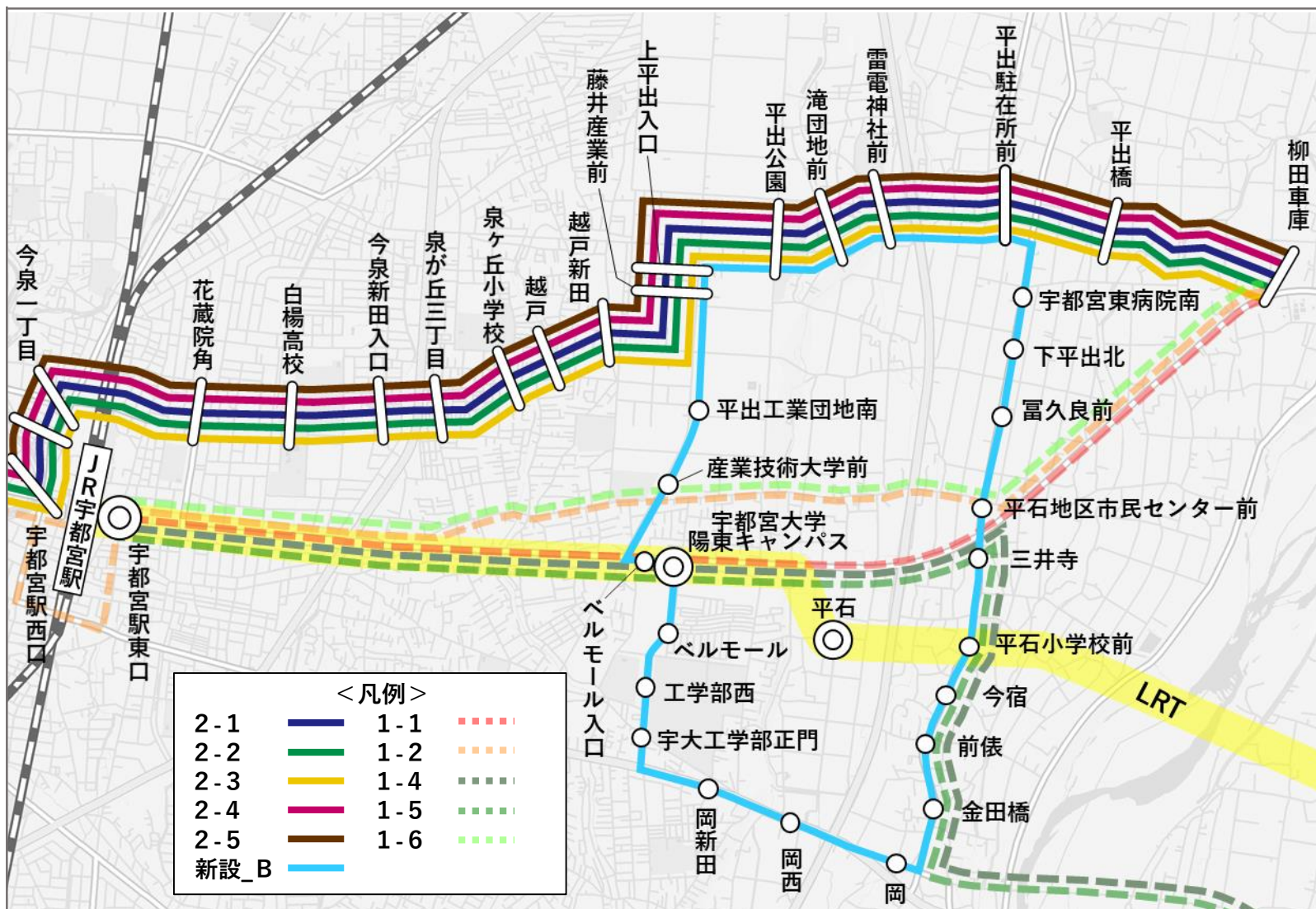
路線の新設により、国道123号沿線地域からJR宇都宮駅やベルモールのトランジットセンターへのアクセス性が向上

《参考：国道123号からLRT(ベルモール)の運行頻度》

- ・運行頻度：113本 **+30本** → 143本

系統番号	区間			キロ程(km)	運行本数		
	起点	経由地	終点		平日	土曜	日・祝
1-1	宇都宮駅東口	東宿郷・ベルモール・下平出・屋敷北	柳田車庫	7.1	廃止		
1-2	宇都宮東武	宇都宮駅東口・産業技術大学校・中平出	柳田車庫	10.1	廃止		
1-3	宇都宮駅東口	新道	ベルモール	2.8	廃止		
1-4	宇都宮駅東口	鑑山	海星学院	10.1	廃止		
1-5	宇都宮駅東口	ベルモール・鑑山	海星学院	10.8	廃止		
1-6	宇都宮駅東口	産業技術大学校・中平出	柳田車庫	6.3	廃止		
1-7	宇都宮駅東口	産業技術大学校・ベルモール・宇大前(循環)	宇都宮駅東口	8.6	廃止		
1-8	宇都宮東武	宇都宮駅・宇大前	ベルモール	6.4	廃止		
1-9	作新学院前	宇都宮駅・宇大前	ベルモール	8.0	廃止		
1-10	宇都宮東武	宇都宮駅・宇大前・鑑山十字路	海星学院	11.2	10	6	6
1-11	西原車庫	宇都宮駅・宇大前	ベルモール	8.6	18	21	13
1-12	宇都宮東武	宇都宮駅・宇大前	ベルモール	6.6	6	5	4
新設_A	宇都宮駅東口	宇大前	ベルモール	4.2	48	30	30
合計					82	62	53

【運行ルート・運行本数等の詳細（再編後）】



【再編の概要】

① バス路線の新設

ベルモールを起終点として、産業通り、平出街道、辰街道、国道123号を循環するバス路線を新設（新設_B）（両回り）

② 既存バス路線のLRTへの置き換え【再掲】

LRTと運行経路が概ね重複する鬼怒通りや柳田街道を運行する既存バス路線（1-1～1-2、1-4～1-6）については、公共交通間の役割分担を踏まえ、LRTへの置き換えを実施

【再編による効果】

① 商業施設や医療施設へのアクセス性の向上

バス路線の新設により、平出街道や辰街道の運行頻度が拡大するとともに、これまで地域内交通でしか移動できなかった施設にバス路線でも移動が可能に。

《参考：平出街道の運行頻度》

- ・運行頻度：38本 **約1.7倍** → 64本
- ・平出街道からバス路線で移動できる施設 **拡大** → ベルモールなど

《参考：辰街道の運行頻度》

- ・運行頻度：7本 **約4倍** → 26本
- ・辰街道北部からバス路線で移動できる施設 **拡大** → ベルモールなど
- ・辰街道南部からバス路線で移動できる施設 **拡大** → 宇都宮東病院など

② LRTへのアクセス性の向上

バスとLRTを乗り継ぐことで、平出街道や辰街道などからJR宇都宮駅や中心市街地等への移動利便性が向上

《参考：平出街道から中心市街地への移動》

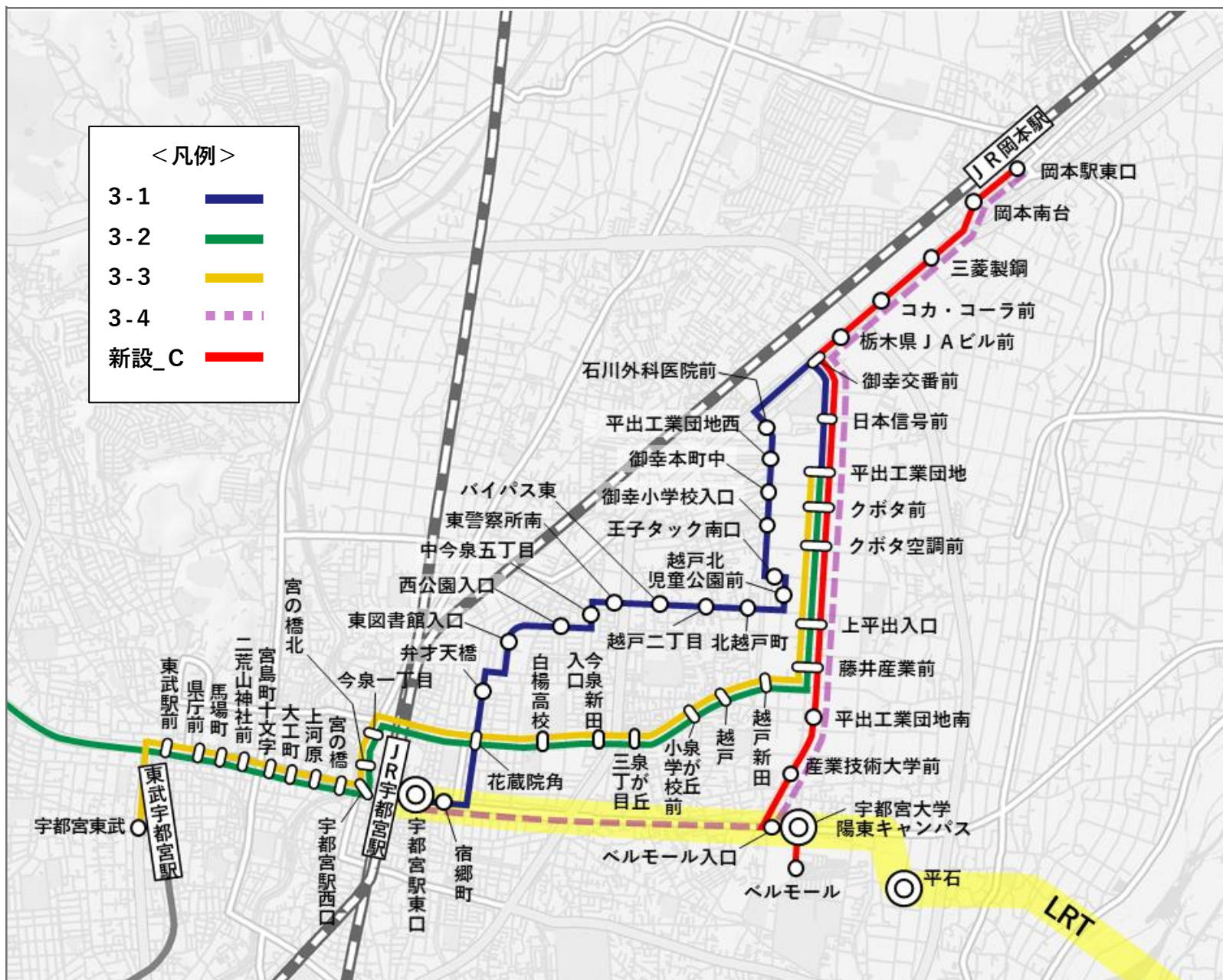
- ・現状：バス（1時間に1本）に合わせて移動
- ・将来：既存バス（1時間に1本）に加え、
新設バス（1時間に1本）+ LRT（日中10分に1本）

《参考：乗継割引制度》

乗継割引制度により、LRTとバスを乗り継いだ際の運賃が軽減され、中心市街地等への運賃がお得に

系統番号	区間			キロ程 (km)	運行本数		
	起点	経由地	終点		平日	土曜	日・祝
2-1	宇都宮駅	白楊高校・越戸	柳田車庫	7.2	2	0	0
2-2	駒生営業所	宇都宮駅・白楊高校・越戸	柳田車庫	13.6	14	32	27
2-3	駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・白楊高校・越戸	柳田車庫	14.7	18	0	0
2-4	作新学院前	宇都宮駅・白楊高校・越戸	柳田車庫	11.0	2	0	0
2-5	宇都宮東武	宇都宮駅・白楊高校・越戸	柳田車庫	9.1	2	0	0
新設_B	ベルモール	産業技術大学前・平出公園・平石小学校前（循環）	ベルモール	9.0	26	26	26
再掲	1-1	宇都宮駅東口	東宿郷・ベルモール・下平出・屋敷北	柳田車庫	7.1	廃止	廃止
	1-2	宇都宮東武	宇都宮駅東口・産業技術大学校・中平出	柳田車庫	10.1	廃止	廃止
	1-4	宇都宮駅東口	鑑山	海星学院	10.1	廃止	廃止
	1-5	宇都宮駅東口	ベルモール・鑑山	海星学院	10.8	廃止	廃止
	1-6	宇都宮駅東口	産業技術大学校・中平出	柳田車庫	6.3	廃止	廃止
合計					64	58	53

【運行ルート・運行本数等の詳細（再編後）】



【再編の概要】

○ バス路線の新設と運行サービスの拡大

平出工業団地を經由して、JR宇都宮駅東口とJR岡本駅東口を結ぶ既存バス路線（3-4）を廃止し、ベルモールTC（宇都宮大学陽東キャンパス）とJR岡本駅東口を結ぶバス路線（新設_C）を新設するとともに、平出工業団地内の運行本数や運行時間帯を拡大

【再編による効果】

○ 運行サービスの拡大と中心部へのアクセス性の向上

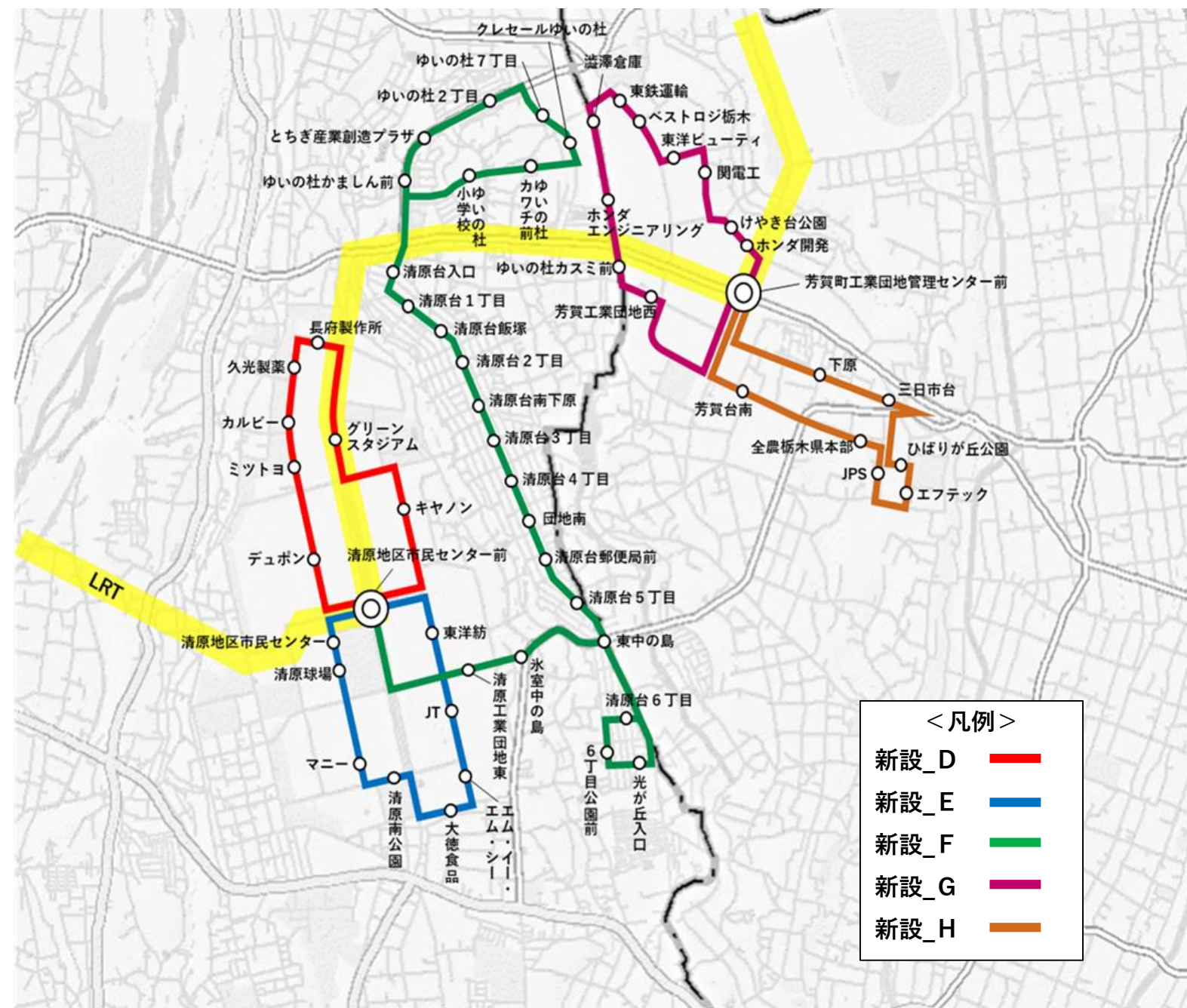
平出工業団地内を運行するバス路線全体の運行頻度が向上するとともに、LRTと乗り継ぐことで、JR宇都宮駅や中心市街地とのアクセス性が向上

《参考：平出工業団地内のバス路線の運行頻度》

- ・ 運行頻度：30本 **約2倍** → 68本（うちLRTと接続するバス路線38本）
- ・ 運行時間帯：7時台、17時台のみ **日中+夕方以降2時間** → 7～19時台

系統番号	区間			キロ程 (km)	運行本数		
	起点	経由地	終点		平日	土曜	日・祝
3-1	宇都宮駅東口	宇都宮市体育館・宇都宮市東図書館	平出工業団地	6.8	34	28	24
3-2	駒生営業所	宇都宮駅・白楊高校・越戸・御幸小学校入口	平出工業団地	11.7	4	0	0
3-3	宇都宮東武	宇都宮駅・白楊高校・越戸・御幸小学校入口	平出工業団地	7.3	26	26	25
3-4	宇都宮駅東口	産業技術大学前・平出工業団地	岡本駅東口	7.6	廃止		
新設_C	ベルモール	御幸交番前	岡本駅東口	5.7	38	26	26
合計					102	80	75

【運行ルート・運行本数等の詳細（再編後）】



【再編の概要】

- ① バス路線の新設（清原台・ゆいの杜）
清原地区市民センター前トランジットセンターを発着し、清原台やゆいの杜を一体的に循環するバス路線を新設（新設_F）
- ② バス路線の新設（清原工業団地、芳賀工業団地）
トランジットセンターを発着し、工業団地内の北側と南側をそれぞれ循環するバス路線を新設（新設_D、E、G、H）

【再編による効果】

- ① 公共交通空白地域の解消とLRTへのアクセス性の向上
 - ・ ゆいの杜北部地域に新たにバス路線を運行させることで、公共交通空白地域が解消し、より多くの市民が公共交通を利用しやすくなる。
 - ・ 工業団地内を循環するバス路線の新設により、公共交通空白地域が解消し、LRTの停留場から離れた企業においても、通勤や出張、来訪者の移動がしやすくなる。
- ② 定時性・速達性の向上
運行距離の長い既存バス路線を定時性に優れるLRTに接続させることで、中心市街地への移動時間が短縮

《参考：清原台3丁目からJR宇都宮駅までの所要時間》

現状：バスのみ 53分 **-10分** 再編後：バス + LRT 43分

【参考：乗継割引制度】

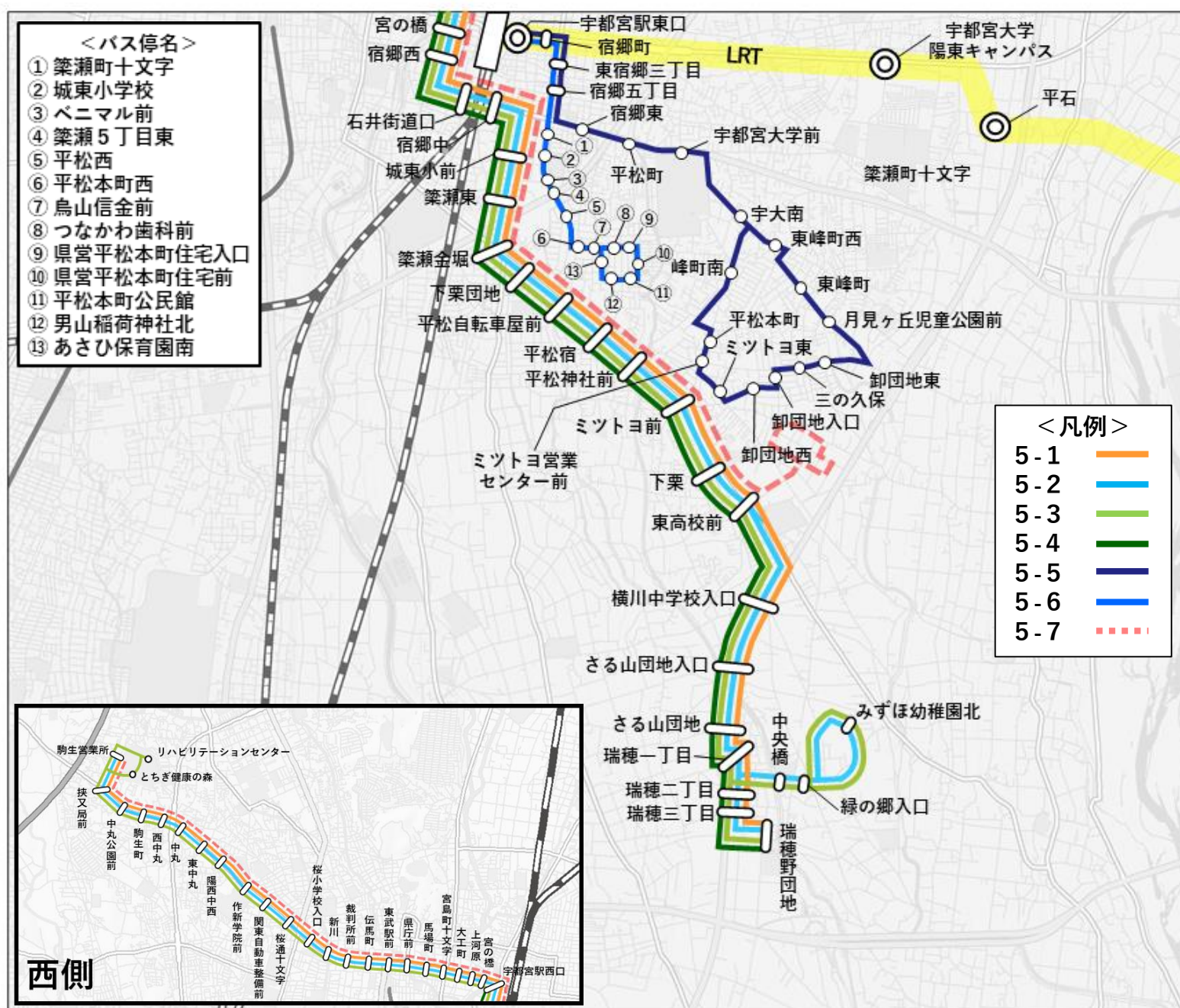
乗継割引制度により、LRTとバスを乗り継いだ際の運賃が軽減され、中心市街地までの運賃がお得に

《参考：清原台3丁目からJR宇都宮駅までの運賃》

現状：バスのみ 630円 **-210円** 再編後：バス + LRT = 420円

系統番号	区間			キロ程 (km)	運行本数		
	起点	経由地	終点		平日	土曜	日・祝
新設_D	清原TC	清原工業団地北	清原TC	4.6	18	0	0
新設_E	清原TC	清原工業団地南	清原TC	4.6	18	0	0
新設_F	清原TC	光が丘入口・清原台・ゆいの杜（循環）	清原TC	15.8	36	31	31
新設_G	芳賀TC	芳賀工業団地北	芳賀TC	4.6	15	0	0
新設_H	芳賀TC	芳賀工業団地南	芳賀TC	3.9	15	0	0
合計					102	31	31

【運行ルート・運行本数等の詳細（再編後）】



【再編の概要】

○ 既存バス路線の延伸

卸会館前行きの既存バス路線（5-7）については、卸会館周辺の利用者が少ないことから、比較的利用者の多い瑞穂野団地線（5-3）への付け替えを実施

【再編による効果】

○ 運行サービスの拡充

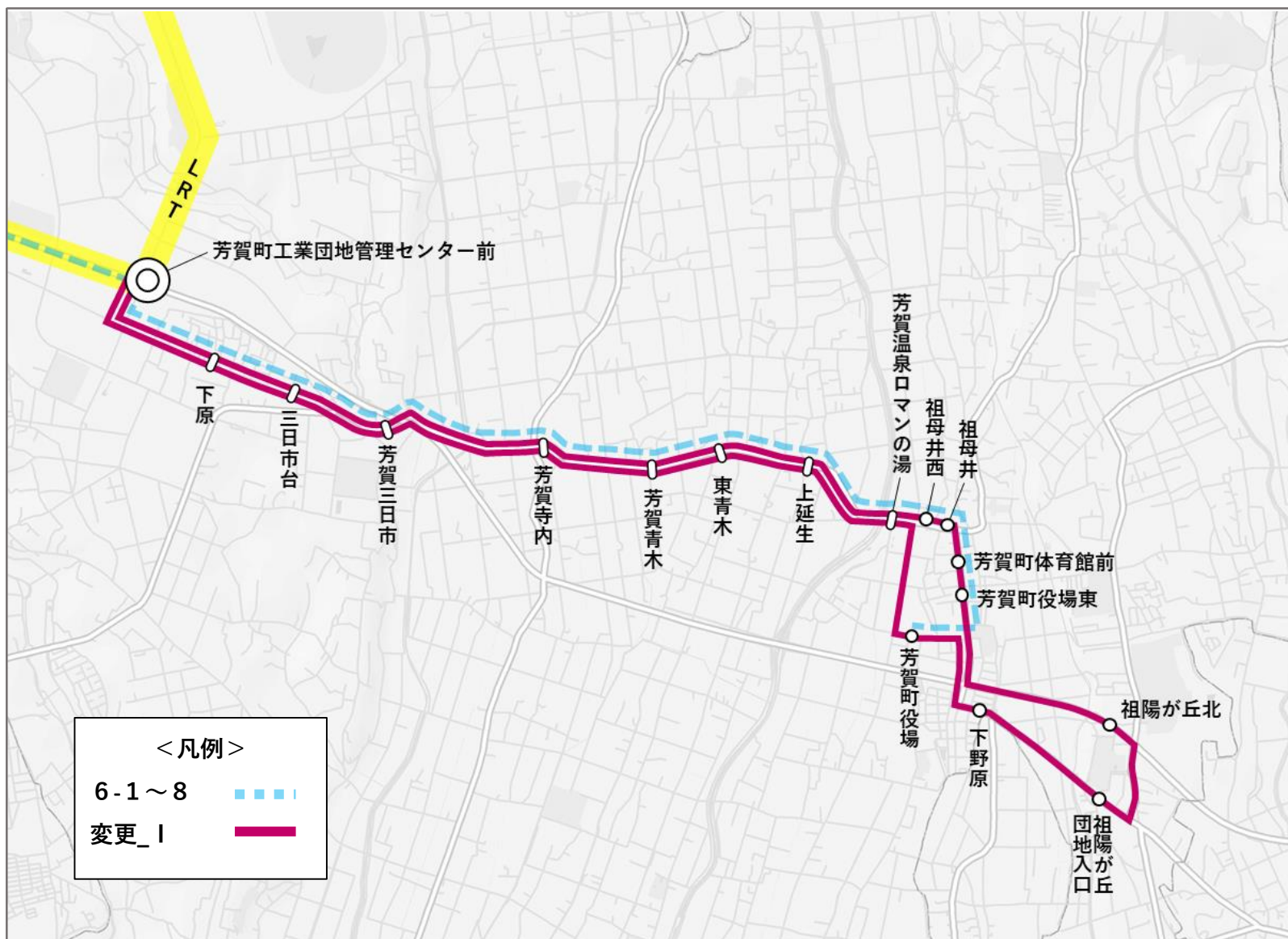
利用者の少ない卸会館前行きの路線を、瑞穂野団地行き路線に付け替えることで、運行の効率化を図るとともに、利用者の多い瑞穂野団地方面へのサービスが向上

《参考：瑞穂野団地方面行きバス路線の運行頻度》

・運行頻度：61本 **+2本** → 63本

系統番号	区間			キロ程 (km)	運行本数		
	起点	経由地	終点		平日	土曜	日・祝
5-1	駒生営業所	宇都宮駅・さる山団地入口	瑞穂野団地	14.2	21	11	10
5-2	駒生営業所	宇都宮駅・さる山団地入口・緑の郷	瑞穂野団地	16.5	16	14	14
5-3	駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・さる山団地入口・緑の郷	瑞穂野団地	17.5	5	0	0
5-4	宇都宮駅西口	さる山団地	瑞穂野団地	7.8	8	4	1
5-5	宇都宮駅東口	宇大前・平松本町・東峰町（循環）	宇都宮駅東口	14.5	4	4	2
5-6	宇都宮駅東口	城東・平松本町団地	宇都宮駅東口	5.7	19	12	12
5-7	駒生営業所	宇都宮駅	卸会館前	13.0	廃止		
合計					73	45	39

【運行ルート・運行本数等の詳細（再編後）】



系統番号	区間			キロ程 (km)	運行本数		
	起点	経由地	終点		平日	土曜	日・祝
6-1	宇都宮駅東口	柳田車庫・刈沼・光が丘入口・梨の木原	芳賀町役場	20.8	廃止	廃止	
6-2	宇都宮駅東口	宇大前・清陵高校南・光が丘入口	芳賀町役場	23.8	廃止	廃止	
6-3	作新学院前	ベルモール・清陵高校南・光が丘入口・芳賀BT	芳賀町役場	29.0	廃止	廃止	
6-4	東武駅前	ベルモール・清陵高校南・光が丘入口・芳賀BT	芳賀町役場	27.2	廃止	廃止	
6-5	作新学院前	清陵高校南・光が丘入口・芳賀BT	芳賀町役場	27.8	廃止	廃止	
6-6	東武駅前	清陵高校南・光が丘入口・芳賀BT	芳賀町役場	26.0	廃止	廃止	
6-7	作新学院前	清陵高校・光が丘入口・芳賀BT	芳賀町役場	28.6	廃止	廃止	
6-8	東武駅前	清陵高校・光が丘入口・芳賀BT	芳賀町役場	26.8	廃止	廃止	
変更_I	芳賀TC	祖母井・祖陽が丘・芳賀町役場・祖母井 (循環)	芳賀TC	15.1	25	19	19
合計					25	19	19

【再編の概要】

- ① 既存バス路線のLRTへの置き換え
LRTと運行経路が概ね重複する芳賀町バスターミナル以西の区間（6-1～6-8）については、公共交通間の役割分担を踏まえ、LRTへの置き換えを実施
- ② 既存バス路線のトランジットセンター発着への変更と延伸
LRTに置き換えた区間以外について、芳賀工業団地トランジットセンター発着に変更するとともに、祖陽が丘住宅団地まで延伸するルートに見直し

【再編による効果】

- ① 運行サービスの拡大
宇都宮方面へ運行する既存バス路線がLRTに置き換わり、LRTが早朝から深夜まで高頻度で運行することで、運行頻度が向上するとともに、運行時間帯が拡大
- ② 定時性・速達性の向上
運行距離の長い既存バス路線を定時性に優れたLRTに接続させることで、宇都宮方面への朝夕の移動時間が短縮

《参考：芳賀町役場からJR宇都宮駅までの所要時間》
現状：バスのみ 70分 → **-20分** 再編後：バス + LRT 50分

【参考：乗継割引制度】

乗継割引制度により、LRTとバスを乗り継いだ際の運賃が軽減され、中心市街地までの運賃がお得に（乗継割引額100円）

《参考：芳賀町役場からJR宇都宮駅までの運賃》
現状：バスのみ 930円 → **-290円** 再編後：バス + LRT = 640円